

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	山形村社会福祉協議会	代表者	山口 隆也	法人・事業所の 特徴	法人としては、県内の社協と情報交換をしたり研修会を行い地域福祉や介護保険のサービスを提供している。 事業所としては近隣の同事業所との勉強会・研修会・情報交換の機会を持ち、また医療機関やボランティアとの連携をはかりながら、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせ柔軟な対応を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 すばる	管理者	塩原ゆかり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を項目ごと1か月ごとに意識して支援する 1が月支援後は、振り返りを行う	目標を表にして目に留まりやすい場所に貼ったが、見慣れてしまい意識することが少なくなってしまった	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を朝礼、会議などで定期的に伝え意識付けできるようにしては ・気を付ける事を共有していく ・個人での評価では、「できている」人が多かった。出来ているのでは 	改善計画を意識して支援ができるよう会議、朝礼等で伝える
B. 事業所のしつらえ・環境	家族、外部の方へ行事への参加を募りしつらえを見てもらい、意見を聞く 弾き続き環境整備に努める	外部の方に環境を聞くことはできた。 外の草刈り、室内環境の整備はできた	<ul style="list-style-type: none"> ・急に評価と言われても ・建物は知っていても何の施設か分からない人が多い。知ってもらうに「すばるタイムス」を民生委員、村議への配布を検討しては ・YCSの文字放送で企画の紹介、広報でのお知らせで知ってもらう 	家族、外部の方へ行事への参加を募りしつらえを見てもらい意見を聞く 引き続き環境整備に努める（前回と同じ）
C. 事業所と地域のかかわり	ランテア、いちいの里に来る方に掲示板などを使い、すばるのイベントへの参加を募りすばるを知ってもらう	掲示板への掲載はできなかった。 すばるタイムスを民生委員さんへ配布できた	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの参加は事業所として参加していないかもしれないが、職員は個人的には参加していると思う ・外出時スタッフジャンパー等で事業所のアピールをしてはどうか ・地域の人が参加できるような企画をしては 	ボランティア、いちいの里に来る方に掲示板などを使い、すばるのイベントへの参加を募りすばるを知ってもらう（前回と同じ）

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	すばるで昔から地域で行われた行事を 継続しつつ、地域の行事に参加できる ように利用者と地域との繋がりがきれ ないように支援する	昔からある行事に合わせ敬老会、まゆ だま作り等行事の継続は行った 祭りの見学、文化祭の発表の見学がで きた	<ul style="list-style-type: none"> ・社協のなかで心配な方の共有はでき ているか ・ケース検討をしていければ 	地域の行事を把握し行事に参加できる ようにし、地域とのつながりが切れな いように支援する
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議で出た意見を会議の議題 にあげ、改善に努める	・会議の議題まではできなかったが、一 部職員で共有。改善できるよう努めた	<ul style="list-style-type: none"> ・心配な方の会議を家族に許可をもら い、臨時での会議をしてはどうか その会議に地域の人に出席してもら い共有できれば ・いきいき暮らしのネットワークや駐 在さんなどから情報を集めてはどうか 	運営推進委員会で困りごと等の情報を 収集し必要があれば事例検討会を行う
F. 事業所の 防災・災害対策	災害計画を具体的に作成、避難訓練な かにとりいれる	災害計画を作成中、夜間を想定した避 難訓練を行った	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、浸水整備に関する補助 金を使っての整備もできる 	防災マニュアルの再確認、訓練を行う

